


(様式2)


2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 伊東市立大池小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	4年1組 24名 4年2組 24名 4年3組 24名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 次の5つのうちから選択し○をつけてください【複数選択可】 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） 2 行事名（ ） 3 その他（ ） (2) 地域における活動 4 イベント名（ ） 5 その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピアンのお話を聞いたり、パラリンピックの種目を体験したりすることで、「障害」に対する理解を深め、共生社会の実現と、誰もが同じスタートラインにつけることに気づく。
5 取組内容	(1) 課題の設定 ①事前調査として・・・ ・「障害者」と聞いて、どのようなイメージをもっているか ・パラリンピックについて知っていること ・パラリンピアンの写真から、感想を書く 等 ②I'm POSSIBLEを活用し、パラリンピックについて知る。 ③「パラリンピックの魅力を伝えよう」 ④課題設定・・・ ・パラリンピックの種目を調べる  (2) 情報の収集 ①インターネットを中心に、情報を集める ②校内をバリアフリーという観点から見つめ直す。 ③オンライン版あすチャレ！ジュニアアカデミー

	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>(3) 整理・分析</p> <p>①集めた情報を、まとめるために整理する</p> <p>②オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」 馬島誠講師による講話</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(4) まとめ・表現</p> <p>①「パラリンピックの魅力を伝えよう」発表会</p> <p>②学習を通して考えたこと、分かったこと</p> <p>③体験活動（ボッチャ）</p> 
6 主な成果	<p>子供たちはパラリンピックに対して興味をもつようになった。子供たちのアンケートからは、「パラリンピックを見てみたい。」という声が多く上がった。</p> <p>障害をもつ人たちに対する考え方が変わってきた。「困っている時は助けてあげたい。」という気持ちを強くしたことはもちろんだが、馬島選手との交流によって、障害をもつ人は自分でできることもたくさんあることや、障害があっても、パラリンピアンのように努力している人たちがたくさんいることに気付いた。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>伊東市には、ボッチャ日本代表の杉村選手がいるので、学習のまとめとして全員でボッチャの体験を行った。</p>
8主な課題等	<p>当初はパラリンピックの種目を体験し、そこから課題の発見、調査等へとつなげる予定だったが、コロナウィルスの拡大により、十分な事前活動ができなかった。子供にとってパラリンピックはなじみのないものなので、より学習効果を上げるためには、体験等を充実させる必要があったと感じている。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>今年度、コロナ禍の中、活動にかなり制限のある状況で実施してきた。本来ならばもっと多くの経験ができたと思うが、そうでなかったため、本来つけられるはずの力をつけたり、考えをもたせたりするところまでいかなかったように思う。</p> <p>来年度も同様に制限がある中での取り組みになると思うので、子供が得られる学習成果や教員の負担等を考えると実施は難しいと思う。</p>